

令和7年度 2年次生 学びのプラン

教科名	国語	単位数 (コマ数)	3単位 (3コマ)	履修年次	2年次
科目名	論理国語	履修	必修修(共通)	開講	通年
教科書	探求 論理国語(桐原書店)	副教材	・「探求 論理国語」がひらく世界 近代小説四選 (桐原書店) ・入試頻出漢字＋現代文重要語彙TOP2500 三訂版 (いっずな書店) ・三訂版 評論速読トレーニング(数研出版) ・小説速読トレーニング(数研出版) ・思考の論理スイッチ2 標準編(浜島書店)		
1 学習の目標					
言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。					
2 学習の方法					
①授業について 授業は週3コマで、評論を中心に学ぶ。講義の他、ペアワーク・グループワークなど適宜実施する。					
②クラスについて 授業はHR単位で行い、内容によっては図書室・特別教室を使用する場合がある。					
③ノートについて 各自用意すること。板書・メモを各自で記録・整理すること。配布されたプリント類を保管するためのファイルを用意しておくこと。					
④小テストについて 授業の中で副教材等を用いて小テストを適宜実施し、理解の定着を確認する。					
⑤週末課題・レポート等について 様々な種類の文章や問題に慣れ、「読む能力」「書く能力」「知識・理解」を更に向上・充実させることを目的として、定期的に副教材等を用いた週末課題に取り組む。					
⑥授業の際に必要なもの 教科書・ノート・ファイルを毎時間用意する。副教材については別途指示。タブレット等を授業時に使用する。					
3 評価について					
①評価の観点					
知識・技能	言語文化および言葉の特徴や決まりなどについての理解を深め、知識を身に付けている。				
思考・判断・表現	論理的・文学的・実用的な文章を的確に読み取るとともに、目的に応じて幅広く読み、自己の考えを深め、発展させている。必要な情報を用い、相手や目的、課題に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えを深め、発展させている。				
主体的に学習に取り組む態度	国語で理解し表現する力を進んで高めるとともに、国語を尊重してその向上を図ろうとしている。課題やグループワーク等に積極的に参加している。				
②評価の方法					
材料	定期考査	小テスト	課題等	グループワーク	評価方法
知識・技能	○	○	○		単元ごとに身に付ける知識や技能を考査等によって評価する。
思考・判断・表現	○		○	○	論理的に考える力や伝え合う力等をワークシートやグループワークの活動などで評価する。
主体的に学習に取り組む態度	○	○	○	○	主体的に学習に向かう態度をワークシートやグループワーク、課題などで評価する。
4 その他					
この授業は、論理的、批判的に考える力を伸ばし、言葉を通して他者や社会と関わろうとする態度を養うことを目標としています。そのためには、自分自身でよく考え、その考えを他の人に伝えるように表現することが大切です。目標を意識しながら取り組みましょう。					

5 単元の目標・評価						
単元名	1 評論Ⅰ つながりの中で					
単元の目標	・解釈の深化 … 解釈の深化 小説を参照し「いのち」について理解を深める。 ・論拠の検討 … 筆者の主張の小説を参照し、「いのち」について理解を深める。 ・いのちは誰のものか考え、誰とともに生きつつあるか考えて表現する。					
育成を目指す力	行動・挑戦力	課題解決力	創造力	発信力	自己管理能力	継続力
活動形態	講義形式またはグループ学習					
活動内容	①初読の確認 ②語句の意味を調べる ③内容読解(グループ学習など) ④要約・意見文など					
評価の観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
評価規準	必要な語句の量を増やし、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。		「読むこと」において、関連する文章や資料をもとに、書き手の立場や目的を考えながら、内容の解釈を深めている。		積極的に、学習課題に沿って、筆者の主張と根拠の関係を理解した上で論の展開をとらえようとしている。	
単元名	2 論文を読む 文学と人間Ⅰ					
単元の目標	・要旨の把握 … 語の定義を手がかりに、筆者の主張を的確にとらえる。 ・論拠の検討 … 筆者の主張の小説を参照し、「いのち」について理解を深める。 ・資料との関連 資料としての小説を鑑賞し、筆者の論拠を検討する。					
育成を目指す力	行動・挑戦力	課題解決力	創造力	発信力	自己管理能力	継続力
活動形態	講義形式またはグループ学習、レポート作成					
活動内容	①初読の確認 ②語句の意味を調べる ③内容読解(グループ学習など) ④要約・意見文など					
評価の観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
評価規準	必要な語句の量を増やし、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。		筆者の主張を、本文中の具体例や言葉を引用しながらまとめたうえで、それに対して適切な意見文を書いている。		学習課題に沿って、筆者の主張と根拠の関係を理解した上で論の展開をとらえ、表現しようとしている。	
単元名	3 評論Ⅱ 言葉の可能性					
単元の目標	・要旨の把握 … 筆者の主張と論理の展開を的確につかむ。 ・論拠の検討 … 対比の関係を意識しながら読み、論理の展開を的確にとらえる。 ・多様な観点 言葉と社会の関心に興味をもち、考えを深める。					
育成を目指す力	行動・挑戦力	課題解決力	創造力	発信力	自己管理能力	継続力
活動形態	講義形式またはグループ学習					
活動内容	①初読の確認 ②語句の意味を調べる ③内容読解(グループ学習など) ④要約・意見文など					
評価の観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
評価規準	論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増やし、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。		「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、論理の展開などを的確にとらえ、論点を明確にしながらいを旨を把握している。		学習課題に沿って、具体的なエピソードに注目しつつ、的確に筆者の主張をとらえようとしている。	
単元名	4 評論Ⅲ 環境に寄り添う営み					
単元の目標	・多様な観点 … 一般的なイメージと筆者の認識の違いを的確に理解する。 ・要旨の把握 … 語の定義を手がかりに、筆者の主張を的確にとらえる。 ・論拠の検討 … 筆者の主張の論拠を検討する。					
育成を目指す力	行動・挑戦力	課題解決力	創造力	発信力	自己管理能力	継続力
活動形態	講義形式またはグループ学習					
活動内容	①初読の確認 ②語句の意味を調べる ③内容読解(グループ学習など) ④要約・意見文など					
評価の観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
評価規準	論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増やし、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。		「読むこと」において、人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深めている。		学習課題に沿って、筆者の主張と根拠の関係を理解した上で論の展開をとらえ、表現しようとしている。	

単元名	5 評論Ⅳ テクノロジーの開く世界					
単元の目標	・要旨の把握 … 筆者の主張と論理の展開を的確につかむ。 ・論拠の検討 … 対比の関係を意識しながら読み、論理の展開を的確にとらえる。 ・多様な観点 言葉と社会の関わりに興味をもち、考えを深める。					
育成を目指す力	行動・挑戦力	課題解決力	創造力	発信力	自己管理力	継続力
活動形態	講義形式またはグループ学習					
活動内容	①初読の確認 ②語句の意味を調べる ③内容読解(グループ学習など) ④要約・意見文など					
評価の観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
評価規準	論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増やし、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。		「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、論理の展開などを的確にとらえ、論点を明確にしながら要旨を把握している。		学習課題に沿って、具体的なエピソードに注目しつつ、的確に筆者の主張をとらえようとしている。	

単元名	6 論文を読む 文学と人間Ⅱ					
単元の目標	・要旨の把握 … 語の定義を手がかりに、筆者の主張を的確にとらえる。 ・論拠の検討 … 筆者の主張の小説を参照し、「先生の淋しさ」について理解を深める。 ・先生の抱えている淋しさは先生の言動にどのように表れているか分析し、文にまとめる。					
育成を目指す力	行動・挑戦力	課題解決力	創造力	発信力	自己管理力	継続力
活動形態	講義形式またはグループ学習、レポート作成					
活動内容	①初読の確認 ②語句の意味を調べる ③内容読解(グループ学習など) ④要約・意見文など					
評価の観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
評価規準	論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増やし、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。		筆者の主張を、本文中の具体例や言葉を引用しながらまとめたうえで、それに対して適切な意見文を書いている。		学習課題に沿って、文章全体の構成に注目しつつ、粘り強く筆者の主張をとらえようとしている。	

単元名	7 境界をこえて 自他・文学・人間					
単元の目標	・要旨の把握 … 語の定義を手がかりに、筆者の主張を的確のとらえる。 ・論拠の検討 … 筆者の主張の論拠を検討する。					
育成を目指す力	行動・挑戦力	課題解決力	創造力	発信力	自己管理力	継続力
活動形態	講義形式またはグループ学習					
活動内容	①初読の確認 ②語句の意味を調べる ③内容読解(グループ学習など) ④要約・意見文など					
評価の観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
評価規準	必要な語句の量を増やし、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。		「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、論理の展開などを的確にとらえ、論点を明確にしながら要旨を把握している。		学習課題に沿って、筆者の主張と根拠の関係を理解した上で論の展開をとらえ、表現しようとしている。	

単元名	8 評論Ⅴ 共同体から社会へ					
単元の目標	・要旨の把握 … 文章全体の構成を意識して、筆者の主張をとらえる。 ・多様な観点 … 文明と人との関係を知り、普遍的な文明について理解を深める。					
育成を目指す力	行動・挑戦力	課題解決力	創造力	発信力	自己管理力	継続力
活動形態	講義形式またはグループ学習、レポート作成					
活動内容	①初読の確認 ②語句の意味を調べる ③内容読解(グループ学習など) ④要約・意見文など					
評価の観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
評価規準	本文中以外の具体例を積極的に考えながら、本文の主張をより深く考察しようとしている。		筆者の主張を、本文中の具体例や言葉を引用しながらまとめたうえで、それに対して適切な意見文を書いている。		積極的に、学習課題に沿って、筆者の主張と根拠の関係を理解した上で論の展開をとらえようとしている。	

6 年間計画						
学期	月	単元		項目	予定時数	考查
前期	4	1 評論Ⅰ つながりの中で	・鷲田清一「いのちは誰のものか？」 ・江國香織「晴れた空の下で」 ・評論解析A	・要旨の把握 筆者の主張を的確にとらえる。 ・解釈の深化 小説を参照し「いのち」について理解を深める。 ・いのちは誰のものか考え、誰とともに生きつつあるか考えて表現する。	14	前期中間考查
	5	2 論文を読む 文学と人間Ⅰ	・中島敦「山月記」 ・宮原浩二「変身に伴う快樂と恐れ——『山月記』を通じて」	・要旨の把握 語の定義を手がかりに、筆者の主張を的確にとらえる。 ・論拠の検討 筆者の主張の論拠を検討する。 ・資料との関連 資料としての小説を鑑賞し、筆者の論拠を検討する。	16	
	6	3 評論Ⅱ 言葉の可能性	・大庭健「動物の信号と人間の言語」	・要旨の把握 筆者の主張と論理の展開を的確につかむ。 ・多様な観点 言葉と社会の関係に興味をもち、考えを深める。	6	
	7	4 評論Ⅲ 環境に寄り添う営み	・赤坂憲雄「木を伐る人／植える人」 ・評論解析B 1 接続表現＋見解の根拠 2 指示表現＋主要な見解 3 効果的な表現＋対比構造 4 キーフレーズ＋具体例の働き	・多様な観点 環境保護に関する一般的なイメージと筆者の認識の違いを的確に理解する。 ・要旨の把握 語の定義を手がかりに、筆者の主張を的確にとらえる。 ・論拠の検討 筆者の主張の論拠を検討する。	14	前期期末考查
	8					
	9	5 評論Ⅳ テクノロジーの開く世界	・黒崎政男「ロボットは心を持つか」	・論拠の検討 対比の関係を意識しながら読み、論理の展開を的確にとらえる。 ・情報との関連 二つの文章を比較、検討したうえで、自分でも関係資料から情報を収集し、自分の考えを広げ、深める。	6	
	10	6 論文を読む 文学と人間Ⅱ	・夏目漱石「こころ」 ・山崎正和「淋しい人間——『こころ』を通じて」	・要旨の把握 語の定義を手がかりに、筆者の主張を的確にとらえる。 ・論拠の検討 筆者の主張の論拠を検討する。 ・資料との関連 資料としての小説を鑑賞し、筆者の論拠を検討する。	21	後期中間考查
	11					
	12	7 境界をこえて 自他・文学・人間	・松村圭一郎「器としての『わたしたち』」 ・浅田次郎「見えぬものを見るということ」	・要旨の把握 語の定義を手がかりに、筆者の主張を的確にとらえる。 ・論拠の検討 筆者の主張の論拠を検討する。	18	
後期	1					後期期末考查
	2	8 評論Ⅴ 共同体から社会へ	・山極寿一「暴力はどこからきたか」山崎正和	・要旨の把握 文章全体の構成を意識して、筆者の主張をとらえる。 ・多様な観点 文明と人との関係を知り、普遍的な文明について理解を深める。	10	
	3					